

1/15 「ベルデしもさと自治会」発足



▲「地域のために頑張りたい」と抱負を語る垣田さん。

加西市で142番目の自治会として、「ベルデしもさと自治会」が発足し、加西市初の女性区長・垣田知織さんが選出。垣田さんは「それぞれのまちの取り組みを見習い、動きのある自治会になるようにしたい」と話され、初参加の区長会総会では拍手に包まれました。

ベルデしもさととは旧下里小学校跡地が団地として開発され、25世帯で発足しました。

1/28 飾り巻き寿司作りに挑戦



▲生きる力の育成を目的に行う「第7回桃子野ふれあい教室」。

富合小学校の児童21人が、鬼とおかめの飾り巻き寿司作りに挑戦しました。

児童は、辰巳温美さん（飾り巻き寿司マスターインストラクター）の指導のもと、卵焼きやチーズ、かまぼこなどを具材に、鬼の目・口・角等を表現。岩崎瑞生さん（6年）は、「巻くのが難しかったけれど、切った時にかわいい鬼ができて感動した」と話しました。

1/29 消防署員とレスキューや放水体験



▲消防署員の指導のもと、レスキュー体験をする参加者。

防災意識を高めようと、加西市女性団体連絡会主催の「消防署一日体験」が、北はりま消防組合加西消防署で行われました。

親子連れら約90人は、同消防署員から応急手当方法の指導を受けたほか、レスキューや放水にも挑戦。また、連合婦人会による豚汁の炊き出しなどもありました。

1/30 東京五輪エンブレム制作・野老さん来市



▲デザインへの思いを語る野老さん（右）と山田さん。

定住促進施策「若者主役計画」の一環として、北条高校で公開講座を行い、約170人の参加がありました。

「つながる」をテーマに、同校卒の山田悦子さん（一級建築士）と野老朝雄さん（アーティスト、2020年東京五輪・パラリンピックエンブレムデザイン）、鳴川肇さん（デザイナー、慶応義塾大准教授）が、それぞれの作品を紹介し、仕事への思いを語られました。

タウンピックアップ

加西市のことなら

加西市のホームページをご覧ください。スマートフォンにも対応



かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載



子育て、定住支援情報

子育て・定住支援情報サイト



かさい子育てNAVI

子育てイベントや子育ての悩みを解決



2/5 廣田・西村選手が区間賞「郡市区対抗駅伝」



▲加西市チームの皆さん。

■男子チーム（43チームが出場）

順位／23位（2部8位） タイム／2時間17分21秒

- 1区 岡田明應（愛知陸協・青野町）
- 2区 田邊卓也（順天堂大・佐谷町）
- 3区 吉田凜大朗（北条中・北条町古坂）
- 4区 松尾凌和（西脇工高・北条町東高室）
- 5区 竹内翔太郎（北条高・北条町古坂）
- 6区 山下真晴（北条中・北条町東高室）
- 7区 廣田雄希（東海大・河内町） 2部区間賞

■女子チーム（42チームが出場）

順位／21位（3部3位） タイム／1時間21分10秒

- 1区 東郷さゆり（上智大・常吉町）
- 2区 西村真咲（小野高・別府町） 3部区間賞
- 3区 松井陽南（北条中・北条町古坂）
- 4区 井上陽菜子（泉中・田谷町）
- 5区 井川夏実（北条高・鴨谷町）

問合先／文化・観光・スポーツ課 ☎ 42-8773

2/8 人々の暮らしの変化を体験



▲石臼で大豆をつぶしてきな粉を作る児童。

賀茂小学校の3年生21人が、炭火アイロンや石臼などの古い道具を使った「昔の暮らし」を体験しました。

NPO法人まちづくり北条の会員に道具の使い方を教わった児童は、実際に手にとって体験。「教科書で見ただけとは違い、使い方がわかり頭に残った。現在の道具はとても使いやすく便利になっている」と暮らしの変化を学びました。

2/10 ダブルダッチに挑戦



▲リズムをとりながら2本のロープを跳ぶ参加者。

アスティアかさいで、2本のロープを使って技を交えながら跳ぶ「ダブルダッチ教室」を開催し、11人の参加がありました。

参加者は、県ダブルダッチ協会理事長の浅田武成さん（加西市出身）や国際大会出場経験者から、縄に入るタイミングや跳び方を教わりました。教室は全5回で、究極のスピードとテクニックを磨いていきます。

播磨国風土記の里 加西

事業の取り組み等を紹介



テレビで緊急情報「まちナビ」

サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信



災害に備えて「かさい防災ネット」

災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

